

2021

同友しずおか7

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった！」

VOL.512

私の逸品

(有)日本スエーデン

革製品ブランド
「ENVELOPE」



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

●社長はいつも孤独

●経営の成功体験しか聞けない

●目の前の仕事に追われる毎日

●指示待ち社員ばかり

●経営の悩みを相談する仲間ができた

●失敗談から勇気とヒントをもらえた

●将来の会社のビジョンができた

●自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
FAX/054-255-7820 E-mail/sbyou@ssba.or.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

2025年ビジョンの実践

【第1回】

「
ビジョンを自分サイズに
落とし込んで実践を」

新連載「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。初回は2025年ビジョン策定の経緯や込められた想いを松葉秀介代表理事に紹介していただきます。

2020年度はコロナ禍という急激な環境変化に立ち向かい、同友会も各会員も新たな価値の創造にチャレンジしてきた1年でした。そんな中2021年～2025年の5年間の県同友会運動の基礎となる2025年ビジョン策定プロジェクトが立ち上がりました。今回のビジョン策定はこれまでの教訓を生かし、ビジョンを決めるプロセスと掲げた後の落とし込み、活用、振り返りの大切さを考えました。そして理事からの代表メンバーに各支部から選任されたメンバーを加え、全県、全会員を巻き込んだプロジェクトを立ち上げ「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」のそれぞれの内容について各グループで議論を重ねました。それぞれの支部活動、委員会活動、もちろん自社の経営、自己変革に自分サイズ、自分事として落とし込むために、あえて具体性を持たせ過ぎず、各々でより具体的な『成長』と『幸せ』が実感できるデザインやストーリーを考えほしいという期待をビジョンの中に込めました。その結果、早くから支部内でビジョンの落とし込みに着手している動きもあります。「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」の各ビジョンは独立しているわけではなく、すべてが繋がっています。

今後経営環境の変化が速く激しくなるに伴い、変化に基づく決断や判断が増えてゆきます。また地域の中小企業の役割・責任、地方や地域の価値は高まってゆくでしょう。これからの5年間、この2025年ビジョンの内容を自分の言葉と行動に落とし込んで実践し、一年ごとに振り返り、一人ひとりが「入ってよかった・続けてよかった・企業も地域もよくなった」を実感できるよう生かしていってほしいと思います。

松葉 秀介氏（松葉倉庫㈱・代表理事／志太支部）



革製品ブランド 「ENVELOPE」

(有)日本スエーデン (静岡支部)

代表取締役 山本 健二氏



抜型の曲げ作業をする山本氏

スエーデン鋼の抜型製作会社

今月の私の逸品では、山本健二氏（有)日本スエーデン・静岡支部）の逸品「ENVELOPE（エンベロープ）」を紹介いたします。山本氏は、2020年度から県経営指針を創る会の会長として同友会でも活躍しています。同社は、1970年、デザイナーであった山本氏の父が創業した（有)ヤマモトデザインルームが原点となります。1973年に現在の社名に変更しました。山本氏は1989年に入社し、1991年から社長を務めています。創業当初から続くスエーデン鋼抜型の製作とは、ヨーロッパから輸入した「スエーデン鋼



オリジナルブランド「ENVELOPE」

刃」を加工し、一枚の革から靴や鞆の形を抜き出す抜き型を製作することです。近年は、革製品の製造・販売、CAD/CAMサービス等も行っています。

抜型職人からものづくり事業へ

同社は創業当初から静岡の地場産業である靴やサンダルメーカーを顧客として、スエーデン鋼の抜型製作をメインに行っていました。近年のメーカー工場の海外移転や廃業、倒産を経て、スエーデン鋼抜型事業の売上は減少の一途をたどっていました。そのような環境の中、山本氏は抜型以外の売上をつくることを模索しました。抜型の

顧客である靴メーカーと毎年視察に行っていたヨーロッパの革の展示会からヒントを得て、自社から発信できるもの、受け身で待つ仕事でないもの、手掛けたのが、革製品のものづくりです。中古のミシンを購入し、手探りで試作を

続けていきました。そして2003年、静岡市とバイヤー、デザイナーと連携して商品開発するプロジェクトに参加し、革製品ブランド「ENVELOPE」が誕生しました。

シンプル・長く愛される革アイテム

「ENVELOPE」は「直線を基調にしたビジネスアイテム」をキーワードにした、シンプルで長く愛される商品であり、デザインを削ぎ落とした最小限の革プロダクトです。このシリーズは発売当初ポーチやキーホルダーなどの5点からはじまり、現在は名刺入れ、財布など12アイテムで構成され、発売時から

都内を中心に売れ続けているといえます。タンナー（皮を加工して革に仕上げる職人）が柔らかくなめした革素材を使用しており、その手触りは絶品です。今秋からビニール袋に入っていたパッケージデザインを紙封筒にデザイン変更し、環境に配慮したものづくりも進めているそうです。「ものづくりとデザインの更なる価値の創造をおし、人々の暮らしに豊かさをあたえる会社である」という理念に基づき、ものづくりとデザイン



スエーデン鋼抜型

(有)日本スエーデン

〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷2450

TEL: 054-278-2761

URL: <http://nihon-sweden.com>

設立 1973年

社員数 6名

入会年月 2016年3月

事業内容 革製品製造販売、スエーデン鋼抜型製造、CAD/CAMサービス、OEM縫製

取材・記事・藤本浩氏

プリントバリエーション（株）・静岡支部

ンのさらなる挑戦と、外部環境に対応した新たなビジネスモデルの構築に可能性を感じていると話してくれました。

会員訪問記

母との絆、その信頼を未来へつなげる！

(株)ソーマ化粧品 榛原販社
代表取締役社長 福世里美氏（榛南支部）



福世里美氏とソーマ化粧品の商品が並ぶショーケース

吉田町で50年以上の歴史を持つ化粧品ブランド「ソーマ化粧品」の販売を行う(株)ソーマ化粧品榛原販社の代表取締役社長 福世里美氏を訪問しました。

会社設立のきっかけは
知り合いのひとこと

同社を設立したのは福世氏の母きっかけは知り合いの保険営業の方に言われた「自分の顔って誰のためのものか分かりますか？」という一言でした。「自分の顔は鏡を見ないと分からないけど、周りからは見られている。自分の顔は他人のためにあるから、綺麗にしなければダメ」という言葉に感化され化粧品探しを始めた福世氏の母が、ご自身に合う化粧品として出会ったのがソーマ化粧品だったそうです。そこから販売に携わるようになり、1988年に社長として(株)ソーマ化粧品榛原販社を設立しました。

商品本来の価値を実感し
お客様に伝える

福世氏は、当時社長だった母からソーマ化粧品の商品を定価で購入し愛用していたそうです。もともと料理教室をやっていたが、ソーマ化粧品の販売員になれば販売店価格で購入できると知り、販売員として活動を始めたといいます。その後、11年前の父の他界を機に7年前に社長に就任、経営を学ぶために入った同友会で経営指針を創る会を受講し、現在に至り

ます。「良いものは定価で買って初めて価値が分かる。価値が分からないとお勧めすることもできない」という理由で娘にも定価で販売していた母を尊敬し「今後の教育にも繋げたい」と語る同氏に化粧品を通じて親子の絆を感じました。訪問販売をメインとしている同社では、化粧品サンプル付き「お試しキャンペーン」などのツールを製作・配布し、お客様とのコミュニケーションのきっかけにしているといいます。また、現役で活躍する88歳の販売員さんについて福世氏は「自社の化粧品に自信を持って販売してくれている。いつも綺麗にしていることが若々しく元気にいられる秘訣なのかもしれない」と語りました。

新たな取り組みで
商品の魅力を発信

コロナ禍で外出の機会が減少し化粧品の需要も落ち込んでいる中でも、同友会で知り合った津賀由布子氏（旬サنديオス・沼津支部）にお店のロゴマークなどのデ



お試しキャンペーン

ザインをお願いしたり、社労士と協力して労働環境の整備をしたり、販売店の上位の方々をバス旅行に招待したりと、様々なことに取り組んできた同氏。社員さんが動画を作成し、化粧品の使い方や季節に合わせた料理の作り方を発信するなど、社内から出たアイデアを活かして様々な工夫をしているといます。

また、地域とのつながりから新たな発見もあったといいます。吉田町で行っているお仕事体験のイベント『伝』では、こども向けのお化粧を空き時間に行ったところ好評で100名を超えるこども達が参加、「こども達もお化粧に対する関心が強いことに驚いた」と話してくれました。

取材・記事：河内崇文氏
(株)スマートブレイン・榛南支部
取材：伊藤義康氏
(イトウシャディ株・榛南支部)

(株)ソーマ化粧品 榛原販社

〒421-0301 榛原郡吉田町住吉2585
TEL：0548-32-2110

設立 1988年
社員数 3名
入会年月 2011年12月
事業内容 化粧品販売

会員訪問記

情報力・目利き力・物流力を強みに
新鮮な魚介類を提供する

丸は羽野水産(株)
代表取締役専務 羽野 佳明氏 (沼津支部)



高野 康一氏

羽野 佳明氏

今回は沼津港で水産会社を経営する丸は羽野水産(株)の代表取締役専務羽野佳明氏にお話を伺いました。

コロナ禍で激変する沼津港

同社は1939年創業以来、沼津港の繁栄に82年にわたり多大な

貢献を続けてきた歴史ある会社です。現在は羽野氏の義兄が5代目社長を務めています。沼津港市場は魚の種類も豊富で近年では首都圏より多くの観光客が集まる港町として賑わっていました。しかし昨年4月の緊急事態宣言発令後は「人の数より野良猫の方が多い」と言われる程、人出が無くなった

そうです。現在は学校給食などに食材を提供できるようになってきましたが、観光関係や飲食の部門では厳しい状況が続いており、6月は飲食部門で一部休業を決めたとのこと。

自社の3つの強み

会社を見学し最初に驚いたのが会議室の数でした。立派な会議室が本社営業部だけでも5室あり他にも2か所あるそうです。多くの会議室を持つ理由は同社の強みである「情報力」にあります。「日本全国の市場から上がる情報を迅速にキャッチし、漁獲量や魚の質を分析し、新鮮でリーズナブルな水産物を提供できるよう心がけている。そのためには、情報も新鮮なうちに社員と共有することが大切」と話してくれました。部門ごとに月に最低2回以上の会議を行っており、現場から上がってくる情報を戦略的に分析し、経



沼津魚市場の競りの様子



同社の「情報力」を支える社内の会議室

営判断しているそうです。

もう1つの強みは「目利き力」。「社員は、相場を読み一瞬で品質の価値を見極めるプロ集団だ」と語る羽野氏。専門性をより高めるために、各部門で魚種ごとに専門チームを設け、魚の性質から勉強・研究を重ねており、「匠」な人材の育成を目指しています。そして3つ目の強みは「物流力」。日本全国のみならず世界中の様々な市場にパイプを持つっており、漁獲量が少ない時でも安定した供給や適切なタイミングで魚を仕入れることができるそうです。

新卒採用への取り組み

現在社員の平均年齢は53才と、同社では高齢化、若者の定着率が課題になっています。朝が早い仕事ではありますが、社員の働きやすい環境をつくるために、労働時間管理や就業規則・評価制度の見

直し、現場改善力の推進に取り組んでいるといいます。新卒採用にも前向きに取り組んでいると話してくれました。

未来のビジョン

「企業の存続と事業を継続することが最も大切」と語る羽野氏。そのために現在使用している冷凍機の入れ替えを随時行っていくといいます。そして先代が築き上げてきた自社の拠点網を生かし倉庫業と配送を1本化、ロジスティクス事業としてさらなる販売網を拡張し、事業の継続を目指していくと熱く語ってくれました。

取材：記事：高野 康一氏

(株)高野部品・沼津支部

取材：片野 浩一氏

(有)弥生製作所・沼津支部

丸は羽野水産(株)

〒410-8552 沼津市春日町75-2

TEL：055-951-4128

URL：http://www.hanosuisan.co.jp

創業 1939年

設立 1954年

社員数 正規76名 パート30名

入会年月 2007年 5月

事業内容 水産物卸小売業（生鮮水産物、冷凍水産物、塩干品）

（二）静岡県信用金庫 協会との意見交換会



6月4日（金）、5年目となる（二）社・静岡県信用金庫協会（以下、信金協会）との意見交換会を東海財務局静岡財務事務所（白瀧所長）の仲介にて開催しました。同協会から田

形会長（しずおか・焼津信用金庫理事長）、紅野副会長（沼津信用金庫理事長）、守田副会長（遠州信用金庫理事長）、永野常務理事（信金協会）、静岡財務事務所より白瀧所長、水谷理財課長、速水理財課調査主任が出席。井上代表理事、田形会長の挨拶の後、同友会から「コロナ禍における自社の取組み」をテーマに井上・松葉・簗代表が経営実践報告をしました。

田形会長からは融資支援の現状、景況アンケートの実施、相談員の増員、事業承継に向けた支援などのコロナ禍での取組みについて紹介がありました。意見交換では中小向けの超長期の資本性融資、事業性評価に基づく融資、中小企業における相談先等について、それぞれの立場から意見交換を実施しました。

第18期 経営指針を創る会開講

経営理念・10年ビジョン・方針・計画の4要素で構成される経営指針書を文化化する活動、経営指針を創る会が6月12日（土）より開講しました。今期は10名の受講生が参加しています。第1講は、まず受講生より自社の現状や歴史を紹介。その後、修了生の津賀由布子氏（㈲サンディオス・沼津支部）より、創る会で学びと実践を報告。「スタッフが楽しく誇りをもって仕事をやる場所をつくること、また社会から必要とされる仕事をつくること」が経営の肝であり自身の願いである」と話しました。

今期は全11講、今後も自社事業分析、内部環境・外部環境分析、事業戦略などを記入する課題シートを活用し、経営指針書の作成を進めていきます。



スタッフと受講生のグループ討論の様子

県共育委員会主催 ビジネスマナー&コミュニケーション研修 「信頼される社員」の基本を学ぶ

6月15日（火）、男女共同参画センターあざれにて共育委員会主催のビジネスマナー&コミュニケーション研修を開催しました。若手社員のほかにも学びなおしを目的とする幅広い年代の社員が参加、会員企業13社より19名が受講しました。野川和三共育委員長（㈱野川商店・榛南支部）は開会挨拶で「知らないことを学ぶことは自分を助けてくれる」と参加者の成長に期待を込めました。

共育委員の須山由佳子氏（㈲キャリア・アップ・浜松支部）による研修は、発声練習・自己紹介・他己紹介からスタートし、グループワークでコミュニケーションや組織について実践的に学びました。午後の部

は各企業の上司から事前に預かっていたメッセージを伝え、受講生は上司の期待を胸に研修に臨みました。ケーススタディから「報告・連絡・相談」の重要性を学び、講師より「よい報連相からよい人間関係が生まれ、ミス防止、会社の利益確保にも繋がる」と伝えられました。研修の最後に鈴木雅夫氏（香港静雅有限公司・榛南支部）より「研修の学びを生かし、自分のために



須山 由佳子氏

も相手に良い印象を与える態度や言葉遣いを心がけてほしい」との挨拶で閉会



グループワークの様子

しました。

後日提出された感想からは「話し手と聞き手ではギャップが常に生じるため、会話の途中でも確認しようと思った」「研修を受ける前は緊張していたが、須山先生の研修は話すことが楽しく感じ、自らの問題点に気付かされた」など、実践的な学びを今後の業務に活かしたいという感想が多くありました。

10月27日（水）にあざれあ（静岡市内）にて、社会人としてのスキル向上や基礎の復習を行う「若手社員フォローアップ研修」を開催予定です。ぜひご参加ください！

よい風土づくりを学ぼう！

女性経営者交流会オープン学習会

6月30日(水) ZOOM & 同友会会議室にて本年度2回目の女性経営者交流会に男女問わず約20名が参加。よい企業づくりにむけた「よい風土づくり」を学びあうことを目的に開催し、当日は経営実践報告「わが社の風土づくり」をテーマに、本交流会会長、静岡市内で金属切削工具製造業を行う(株)松岡カッター製作所、松岡慶子氏(静岡支部)が登壇しました。

創業からの歩み、事業内容を話し本題の「よい風土」にむけた取組みについて報告。

①家庭と仕事の両立支援、②子育て支援、③女性技術職の育成、④特有の課題の4点に分けて発表しました。まず、①家庭と仕事の両立支援については、制度開始当初から導入する全社員への「時間有給制度」の活用について語りました。社内調査から社員の有給取得の1割が家族に係る事由であることがわかり、同制度を根付かせることで、性別・職歴問わず、子育て・介護・自治会・学校行事等に各々の社員が参画しやすくなったと言います。次に②子育て支援については、妊娠している社員が産後の職場復帰が



松岡 慶子氏

円滑に進むようチーム全員で仕事をカバーしあうサポート体制を紹介しました。③女性技術職の育成については、女性が製造部門でさらに活躍する環境整備にむけて、女性が使えやすい産業用機械への改良や女性に配慮した作業着等への提起がありました。最後に④特有の課題については、女性に限らず多くの経営者の男女共同参画への理解を願い、子育てや介護等への理解が今後一層進むことを期待しました。

「子どもにとって母と父はその人しかない。でも仕事は皆でお互いさまの気持ちで代わることができる」と語る松岡氏。自身の経験を交えながら同社の風土づくりへの到達と挑戦を語って頂きました。

報告後は4グループに分かれ各社の取り組みについて討論しました。グループ発表では、会社は社員に安心して働いてもらうことが使命であり、安心を見える形にするために制度を整えること、就業規則を社員と一緒につくっていくことが大事などの意見があり「女性が働きやすい職場は男性も働きやすい職場である」など多くの気づきを得た討論になりました。

第3回開催も会員皆様のご参加心よりお待ちしております。

第24回女性経営者全国交流会in愛知

「原点回帰 未来を育む愛・知恵」

「原点回帰 未来を育む愛・知恵」をテーマに第24回女性経営者全国交流会in愛知がオンラインで開催され、全国から869名(うち静岡同友会5名)が集いました。

記念講演では、(独)日本貿易振興機構アジア経済研究所の山田美和氏が「誰一人とり残さない幸せの見える社会づくりに向けて」をテーマに、「ビジネスと人権」における現在の国の施策と企業に期待されることについて、またポストコロナ時代に『中小企業における労使関係』(以下、労使見解)をどう読み解くかについて講演しました。人権尊重においては「多様性」と同時にマイノリティーの意見がマジョリティーと同様に尊重される「包摂性」が重要だと語りました。また、国際的スタンダードと照らし合わせながら内容を磨きなおすことで『労使見解』が経営者のためだけのものではなく、社員も含めて他者に理解されるもの、未来に読み継がれる「みんなの『労使見解』」になるのではないかと語りました。記念講演の後、参加者は7つの分科会に分かれてテーマごとに学びを深めました。詳細については「中小企業家しんぶん」に掲載される予定ですので、ぜひご覧ください！

富士宮・富士支部合同例会

ビジョンで未来を描こう！

～従業員の幸せを求めて～



梅田 益生氏

6月11日(金)、富士宮・富士支部合同例会がZOOM・会場併用で開催され、各支部会員・オブザーバー含め103名が参加しました。呉服販売・貸衣装・フォトスタジオなどを経営する梅田益生氏(南ウメイチ・岐阜同友会)が報告。経営を引き継ぎ赤字体質から脱却し、経営理念を作成、労働環境整備や社員教育に取り組んできた梅田氏は、やる気のある社員が辞めたことがきっかけで「みんなが幸せを描ける会社にした」と経営指針に含まれる10年ビジョンの大切さに気付きます。社員一人ひとりに自分の夢をイラスト化してもらったところ、「ハワイに outlet したい」や「今のままの仕事はずっと続けていたい」など社員の様々な想いが明らかになりました。それらをもとに、会社のビジョンと社員の夢、世の中のニーズが重なるようなビジョンづくりに取り組み、2019年に「2030VISION」を発表。「同友会の学びが他人事から自分事になったことで、社員が主体的に変わってきた」と語る梅田氏の報告から、学ぶ姿勢やビジョンを持つことの大切さを実感する例会となりました。



～従業員の幸せを求めて～

7月・8月

DOYU CALENDAR

7月16日(金)～8月15日(日)

7月 16日(金)	県障がい者問題委員会 県内関係機関との意見交換会 (15:00 ZOOM) 全県経営フォーラム実行委員会 (19:00 同友会事務局&ZOOM)
19日(月)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM)
20日(火)	県組織増強委員会 (17:30 ZOOM)
21日(水)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 沼津例会 (19:00 ZOOM) 志太例会 (18:30 藤枝地区交流センター&ZOOM) 榛南例会 (19:00 きてご榛原&ZOOM)
26日(月)	三島例会 グループ長研修 (19:00 ZOOM)
27日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
28日(水)	伊東例会 (19:00 伊東商工会議所&ZOOM)
30日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」 (19:00 同友会事務局&ZOOM) 第18期創会 第4講 (19:00 ペガサート&ZOOM(予定))

8月 2日(月)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM)
4日(水)	県総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)
5日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
6日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店&ZOOM) 中日本・北陸3県合同グループ長研修 (18:30 ZOOM)
11日(水)	御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア&ZOOM)

《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》



新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1064 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者	氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
いわはし 岩橋 英毅	日本郵便(株) 小山菅沼郵便局 サービス業 (郵便やゆうパックに関する窓口業務、銀行代理店業務、保険募集業務)	御殿場	勝又 薫	くまが い 熊谷 将史	five feet cafe's 飲食業 (カフェ事業)	静岡	牧田 豊
しもやま 下山 恭功	日本郵便(株) 御殿場東田中郵便局 サービス業 (郵便やゆうパックに関する窓口業務、銀行代理店業務、保険募集業務)	御殿場	勝又 薫	くり た 栗田 正啓	(株)JSフロンティア 新電力小売事業代理店、新電力導入サポート (新電力を用いたコスト削減、CO ₂ フリープラン等提案)	静岡	井上 斉
かさ い 笠井 浩	不動産のつばさ 不動産業 (不動産売買、賃貸)	富士	影山 伸和	わし さ か 驚坂 俊博	山晃運輸(株) 運輸業 (一般貨物自動車運送業、第一種利用運送業)	志太	松葉 秀介
すず き 鈴木 幸司	鈴木こうじ一級建築士事務所 建築設計	富士	西村 知浩	おおい し 大石 泰弘	(株)CHOコンサルティング サービス業 ((通称) ホワイト企業マーク取得支援、組織開発支援、企業研修)	榛南	小塚 辰巳
かじはら 梶原 英詩	(有)シラネ精工 製造業 (半導体製造装置ユニット組配、ケーブル加工、制御盤)	富士宮	中村 仁				

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

新会員さんこんにちは!

静岡支部 新入会員 Vario's合同会社を訪問!

今月は静岡支部6月入会のVario's合同会社の石光氏をご紹介します。
石氏は3年前にシングルマザーが安心して子ども最優先で働けるように同社を立ち上げました。オフィスはオシャレな空間で、映像制作やテレアパなどの代行業務を行っています。石氏は1日に3～10社ほどの経営者と会って話をするそうで、相談に応じながらできることを提案し、一步步手探りで業務の幅を広げてきました。「成功した理由・失敗した理由を聞くことが好きなので会活動への参加が楽しみです」と話してくれました。

訪問：若杉 幸秀氏 (有)ティーパワー・静岡支部)



石 光氏 (右奥)

6月は9名入会、会員数は1064名となりました。皆様ぜひ同友会にお知り合いの経営者・後継者の方をご紹介します!